

設計課題 「健康づくりのためのスポーツ施設」

I. 設計条件

この課題は、中核都市の市街地において、健康増進のためのエクササイズ等を行う温水プールのある建築物を計画するものである。本施設は、教育機関・医療機関とも連携し、スポーツ・レクリエーション等による効果的な健康増進プログラムを検討することで、高齢者、身障者等を含むすべての地域住民が、ライフステージに応じたスポーツ活動を通じて、健康の維持・増進を図るための活動拠点とする。

- なお、計画については、次の点に留意して適切に計画する。
- ① パッシブデザインを積極的に取り入れ、省エネルギーに配慮した計画とする。
 - ② 温水プール室の空調設備は、単一ダクト方式とする。
 - ③ 給湯設備は、熱源機器と貯湯槽からなる中央給湯方式とする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。なお、敷地は、駅から約200mのところの位置している。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は40%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
地下1階を除く床面積の合計は、2,400㎡以上、2,800㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・設置階が明示されているもの(プール室及び設備スペース)以外は、1階～3階に計画する。			
・スポーツ部門は、有料とする。			
スポーツ部門	プール室	・地上1階に設ける。 ・プールは、長さ20m、幅10m、最深1.1mとする。 ・採暖室をプールサイドに設ける。 ・天井を張るものとし天井高は、6m以上とする。 ・備品庫を計画する。 ・エントランスホール及び観覧ギャラリーから観覧できるようにする。 ・プール室の入口に足洗槽を設ける。	約450㎡
	トレーニングルーム	・各種運動器具を利用して、トレーニングを行う。 ・天井を張るものとし天井高は、5m以上とする。 ・室の辺長比は1.5以下とし、無柱空間とする。	約200㎡
	トレーニングルーム用器具庫	・トレーニングルームに隣接して設ける。	約20㎡
	エアロビクススタジオ	・ダンスやヨガ等を行う。 ・壁の一面に鏡を設ける。	約100㎡
	ロッカールーム	・男性用、女性用として2室(100㎡以上/1室)を設け、それぞれに、車いす利用者用更衣室1室を計画する。 ・ロッカー、洗面台、シャワー、便所を設け、車いす利用者用更衣室には、洗面台、シャワー、便器を設ける。 ・プール室、トレーニングルーム及びエアロビクススタジオの利用者が使用する。 ・入室は、入退室ゲートシステムとする。 ・プール室とロッカールームとの間の動線は、他の動線と交錯しないように計画する。	200㎡以上
健康増進部門	軽運動室	・卓球やレクリエーションを通じた軽運動等を行う。	約100㎡
	体力測定室		約35㎡
	多目的室	・スポーツ・健康に関する講習や講演等に利用する。 ・可動間仕切りにより、2室に分割して利用できるようにする。	約100㎡
	健康相談室(1)(2)	・2室設け、スポーツや健康に関する相談や助言を行う。	適宜
共用・管理部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・1階から3階の空間の連続性を考慮した吹抜け(40㎡以上)を設け、梁は設けない構造計画とする。 ・談話スペースを設ける。	適宜
	カフェ	・30人程度が利用できるようにする。 ・厨房、カウンター、テーブル、椅子等を設ける。 ・外部からも直接利用できるものとする。	適宜
	プロショップ	・スポーツ用具の販売を行う。	約35㎡
	観覧ギャラリー	・施設利用者がプールを観覧できるようにする。	適宜
	休憩ラウンジ	・屋上ウォーキングトラックとの関係に配慮する。	適宜
	スポーツ情報コーナー	・インターネットで、情報検索等ができるようにする。	適宜
	事務室	・施設長及び4人分の事務スペースを確保する。 ・施設利用者の入退館の管理とスポーツ部門の料金徴収ができる受付カウンターを設ける。	適宜
	医務室		適宜
	指導員更衣・休憩室	・男性用、女性用として2室を設ける。	計30㎡以上
	スタッフ控室	・従業員及び指導員等の控室として利用する。	適宜
設備スペース	電気室、機械室	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(給排水衛生、電気、消火等)は、地下1階に計画する。	適宜
	空調機械室	・空調機械室、屋外機器置場等を計画する。 ・設置階は自由とする。	適宜
・便所、従業員等の出入口、倉庫(備品庫等を含む)及びゴミ置場については、適切に計画する。			
・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画する。			

3. 屋外施設等

- (1) 「屋上ウォーキングトラック」は、施設利用者が自由に出入りができるようにする。また、3階床レベルに計画し、ウォーキングコース、植栽、屋外ファニチャーを含むまとまったスペースで400㎡以上(上部に屋根又は、上階がある部分は算入しない。)を確保する。
- (2) 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子利用者用として1台分、サービス用として2台分(計3台分)のスペースを設ける。なお、利用者・職員等の駐車場は、東側の公共駐車場を利用するものとし考慮しなくてもよい。
- (3) 敷地内の駐輪場は、利用者用として20台分を設ける。
- (4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表より、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、建築計画、構造計画及び設備計画において留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 ・配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))、煙突の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(点線で図示する) ト. 断面図の切断位置 チ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 地階部分の位置(点線で図示し、床面積を記入する。) ハ. ドライエリアの位置 ニ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ホ. 通路、植栽等
(3) 3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 屋上ウォーキングトラックの面積、ウォーキングコース、植栽、屋外ファニチャー等及び2階の屋根、ひさし等となる部分
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、プール室を含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高並びに1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、壁、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 利用者・スタッフ等の動線及び要求室の配置について考慮したこと
 - ② ロッカールームのバリアフリーについて、配慮したこと
 - ③ 採用したパッシブデザインについて特に考慮したこと(3つ以上の手法)
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① プール室の上部(屋根又は床スラブ)構造の「部材の断面寸法」並びに、「構造種別・架橋形式」及び「スパン割り」について考慮したこと
 - ② 良好な地盤条件を踏まえて計画したプール室の基礎構造について、「採用した基礎構造の形式」、「基礎底面のレベル」、「基礎梁の寸法」等について特に考慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① トレーニングルームに採用した空調方式、採用した理由及び良好な室内環境とするための吹出口・吸込口の計画について配慮したこと
 - ② 設備スペース及び設備シャフトの配置計画について、配慮したこと

